

----- 主な内容 -----

変らない獨協の心...獨協祭に参加して.....田中建吾...( 1 )

定期総会・懇親会のお知らせ.....( 3 )

平成20年度決算書.....( 4 )

平成21年度予算書(案).....( 5 )

昭和28年卒・医師・山崎誠君死去に際して...池谷正之...( 6 )  
(戦後医学部入学受験の混乱期に)

卒業後・ン十年 会員近況報告.....( 7 )

第16代校長 蝦名賢造先生ご逝去.....金 有一...( 9 )

神田直人先生の思い出...山田真弘・原 鉄 一・佐藤和美...( 9 )

獨協中・高 PTAより・獨協祭のお願い.....木原正義... ( 11 )

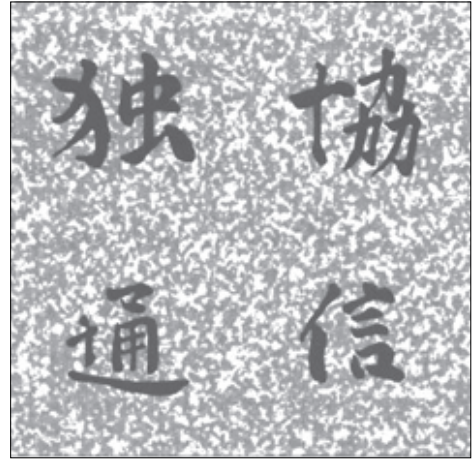
クラス会だより.....( 12 )

平成21年度大学別合格者数.....( 15 )

物故者名簿.....( 16 )

学園・事務局だより.....( 16 )

返信はがき職業欄記入例.....( 16 )



題字・天野貞祐

第 72 号

平成21年5月10日発行

発行所 〒112-0014 東京都文京区関口3-8-1

TEL / FAX 03(3946)6352(直通)

獨協同窓会 発行責任者 鈴木 莊太郎

## “変らない 獨協の心”獨協祭に参加して

昭和18年卒 田中 建吾

昨年秋の一日、同窓の一人として獨協祭に参加する事が出来た。幸い戦前から母校の近くに家が在るので前日も訪ねたが今回は同窓会が協力していると聞いて出かけた訳である。



天野先生のお写真の前で

好天に恵まれ、校舎の内も外も多勢の人々で賑やかであった。正面玄関の受付を通過して二階に上がりPTAのバザーを覗いて三階の同窓会展示場に伺った。実行委員の方々の努力で同窓会の諸々が大変判り易く示されてあった。又百年をこえる長い獨協の歴史が見事に整理されこの学校が持つ“獨協の心”を感じることが出来た。更に天野貞祐先生を偲ぶコーナーが設けられ先生の著書及び関係資料や肉声テープが会場に流れる等、極めて興味をひくものがあった。会場には小粋な茶話テーブルが用意され心のこもった配慮に感激した。昔から同窓の中には音楽家や歌手、芸術家、俳優等が多いと聞いていたが会場には亡くなられた三代目古今亭志ん朝師匠のご鬘原さん江と書かれた記念品が飾られてあった。

彼がドイツ語に堪能で若い頃ドイツ留

学を大変望んでいたと何かの本に書いてあった事を記憶している。一息いれて、ふっと昭和18年本校に入学した時から現在迄その長い年月を経ても自分の中に変わらない何かがある事に気がついた。余り勉強らしい事はしなかったし、戦争中のこともあり経済的に華やかではなかったが厭な思いはなかった。今日のように受験も考えず大学入学の為の予備校生的気持も薄かった様な気がする。社会に出る様になって色々な人と話をする事が多くなった。

親しくなり、その内に偶然、出身がお互いに獨協であることがあった。「えーっ、貴君も獨協か」と自ずと全てを忘れ青春時代に戻り時の経つのに気がつかなかったこともあった。

人を押しのける事もなく個々夫々に青春を楽しんで成長して行けた事、ああ獨協っていいものだなあ とつくづくと感じている。

短い時間ではあるが展示された資料を見ることが出来た事は幸いであった。考えると気が遠くなる様な古い時代、幕末から明治維新にかけて我国の近代化を目標に多くの先人が西欧から文化を吸収する事の必要を訴え、努力を重ねていた。特にドイツの文化が国民の心身に及ぼす影響を真剣に考えた人々によって、既に明治3年現在の獨協教育の基礎となる素地が出来ていたのには驚いた。明治14年には「独逸学協会」が誕生し、明治16年、明治政府の重鎮であり識者である西周先生が初代校長になられ知育、

徳育、体育の理念に基づいて「独逸学協会学校」が設立された。因みに私が入学した時、校名は～中学校ではなく「独逸学協会学校、中学」となっていた。明治20年元勲の桂太郎氏が第二代校長になりこの年に現在使用の帽章が制定されている。それより前、明治18年に依嘱されてドクトル・ゲオルグ・ミヒアリス氏がベルリンから来日し本校専修科の教頭として5年の長い歳月、学校の体制を確立し、多くの学生の指導に尽力していただいている。大変誇らしい事であるが後年、お二人共日本及びドイツの総理大臣になられている。この様にして長い時をかけた多くの人々の力によって私達はいつのまにか大らかな風格を持つ事が出来たのだと大変有り難く思った。古い写真の中の創成期に関係された方々や学生の人々の眼に輝きがあって私達を大いに元気づけていると思えた。

今、世界的に経済環境が低迷し、大恐慌等困難な時代に直面しているが、私達はこんな事に負けてはいられないと思う。獨協が存在してから世の中は色々なことに遭遇して来た。そして現在も“どっこい”生きているのである。卒業生として“獨協の心”を持ち頑張って行こうと思う。帰り際に校内を見廻すと学生達の生き活きとした姿があり極めて明るい未来を見る事が出来た。きっと素晴らしい展開があるものと固く信じた次第である。

## 母校文化祭に集う 同窓会の部屋開設

同窓会では昨年9月27日、28日両日母校で開催された獨協祭に初出展した。

桜田幹事を実行委員長とし、1教室を「獨協の歴史館」に仕立て125年の系譜、天野貞祐先生の偉業などパネル展示し、2日間で約250名が訪れた。特に受験を控えた小学生の家族連れにとっては獨協の沿革が良くわかり、会場に詰めた鈴木会長他会員が熱心な質問に答えた。また、お茶とお菓子を用意した休憩コーナーを設けたことで、現役生徒と卒業生が世代を越えて語らえ、昔の思い出や今日の学校生活などの話に花が咲いた。また、当時の先生もお立ち寄り頂いたことで一同を大いに喜ばせた。

今回このような同窓会の部屋を文化祭の

中に設けたことで、6月の総会、懇親会と同様に懐か



懐かしい校舎の写真を前に思い出話をする

しい先生方やOB達に再会できるチャンスが増えたことになる。

獨協同窓会ではこの初出展の実績を踏まえ、本年10月3、4日の獨協祭にも参加を計画、兄弟校へのPRや“活躍するOB”たちなどさらなる充実化を図る予定なので、ぜひ多くの会員にお出で頂きたいと思っている。

## 総会・懇親会のご案内

総会に参加を

今年度の総会・懇親会はご案内のように平成21年6月20日に開催されます。総会では、平成20年度の事業報告、収支決算書および収支差額金の処分案が付議されます。また、本年度平成21年度の事業計画及び収支予算案が付議されます。そして、本年度は一部役員の新役員候補者で新体制をご審議いただくこととなります。

なお、本年度事業としては昨年に引き続き、10月

新役員候補（任期は21年より3年）

会 長：鈴木 荘太朗（昭35卒）	監 事：合田 憲（昭38卒）
副 会 長：金 有（昭35卒）	監 事：森上 克彦（昭47卒）
副 会 長：櫻田 可人（昭40卒）	会 計：高野 邦彦（昭40卒）
幹 事 長：中村 昭美（昭41卒）	会 計：神谷 善弘（昭57卒）
副幹事長：谷口 有三（昭53卒）	顧 問：宮田 和夫（昭24卒）

3日、4日の両日に開催されます母校の学園祭「獨協祭」に参加することが計画されています。

総会後は、例年通り椿山荘にて懇親会が開催されます。恩師、旧友も多数参加されますので奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

名簿作成について

5年ごとに同窓会名簿を作成し、会員各位へ配布しておりますが、ご承知のように個人情報保護法の制定に伴い、本同窓会も管理する個人情報5000件を超えますので、個人情報取扱事業者となります。そこで会員各位の名簿掲載などに関わる意思確認を行いたいと考えております。会報に同封した総会への出欠確認同様に必要な事項をご記入の上ご返送をお願い申し上げます。

会費納入について

同窓会会費について、納入状況が近年停滞しております。その原因のひとつとして、「何年もの間納入してこなかった場合、過去にさかのぼって納入しなければならないのか」というお尋ねがあることです。本同窓会につきましては、年度会費として当該年度に納入していただくことのみを目標にしております。今般の経済状況を考えますと、一時納入を見合わせることもやむをえないと思います。しかし、余裕が出来ましたらいつでも会費は年度ごとに受け付けておりますのでよろしくご協力をお願いします。なお、更に余裕が出来た場合は、ご寄附も喜んでお受けいたしますので、ご支援いただきたく存じ上げます。

# 6月20日に平成21年度総会・懇親会

平成21年度獨協同窓会総会・懇親会を下記のように開催いたします。

日時：平成21年6月20日（土）

場所：

総 会 会 場：獨協中学・高校小講堂

開始時刻：午後5時

懇親会 会 場：椿山荘・ギャラクシー

受付開始：午後6時より

開会時刻：午後6時半より

総会付議事項

第1号議案 平成20年度事業報告及び

平成20年度収支決算報告の件

第2号議案 平成20年度収支差額金処分案承認の件

第3号議案 平成21年度事業計画及び平成21年度収支予算案承認の件

第4号議案 役員改選

懇親会費：（会場受付でお支払い）

昭和21年以前の卒業生……………無料

昭和22年～平成15年の卒業生……………5,000円

平成16年～平成20年の卒業生……………2,000円

出欠のご返事は同封の返信用封筒で、6月14日必着でお願いします。欠席なさる方は付議事項をご検討の上、委任状に記名・押印してください。

# 獨協同窓会 平成20年度 収支決算書

平成20年4月1日から  
平成21年3月31日まで

## 収入の部

(単位:円)

科目	20年度決算額(A)	20年度予算額(B)	(A)-(B)	摘要
1 入会金	6,330,000	6,300,000	30,000	30,000円×211名
2 会費	6,485,000	7,000,000	515,000	5,000円×1,297件
3 寄付金	88,367	10,000	78,367	スマイルBOX他
4 事業収入	374,000	310,000	64,000	
総会会費	354,000	300,000	54,000	
名簿売上代	20,000	10,000	10,000	
5 資産運用収入	237,715	220,000	17,715	利息等
6 その他事業積立金より繰入	1,000,000	1,000,000	0	
7 雑収入	57,500	10,000	47,500	
合計	14,572,582	14,850,000	277,418	

## 支出の部

科目	20年度決算額(A)	20年度予算額(B)	(A)-(B)	摘要
1 事業費	9,822,075	10,720,000	897,925	
(1) 総会費	1,671,181	1,900,000	228,819	総会、懇親会費
(2) 会報費(獨協通信)	4,878,474	4,920,000	41,526	70,71号制作費
(3) 事業通信費	1,712,958	2,000,000	287,042	会報発送費等
(4) 慶弔費	213,420	300,000	86,580	
(5) 渉外費	44,364	100,000	55,636	諸会費等
(6) クラス会補助	180,000	300,000	120,000	
(7) 卒業生記念品費	455,070	500,000	44,930	
(8) 中高事業補助	200,000	200,000	0	
(9) 獨協祭参加費	- 466,608	500,000	33,392	
2 事務費	2,758,993	3,500,000	741,007	
(1) 事務運営費	607,691	900,000	292,309	事務通信費、振込手数料等
(2) 管理費	1,008,450	1,100,000	91,550	事務局費等
(3) 会議費	333,117	500,000	166,883	
(4) 旅費交通費	628,180	700,000	71,820	
(5) 名簿管理費	87,135	200,000	112,865	
(6) 雑費	94,420	100,000	5,580	
3 予備費	0	300,000	300,000	
小計	12,581,068	14,520,000	1,938,932	
4 収支差額金	1,991,514	330,000	1,661,514	
合計	14,572,582	14,850,000	277,418	

『予備費』当初予算額1,000千円のうち、  
 『獨協祭参加費』へ300千円振替  
 『旅費交通費』へ200千円振替  
 『管理費』へ100千円振替  
 『慶弔費』へ100千円振替

## 貸借対照表

平成21年3月31日現在  
(単位:円)

利付国債	20,000,000	(基本財産) 基本金	21,000,000
定期預金	22,000,000	(運用財産) 事業積立金	26,280,256
現預金	7,271,770	(1) 名簿積立金	4,000,000
		(2) 一般事業積立金	22,280,256
		収支差額金	1,991,514
	49,271,770		49,271,770

定期預金は4行に預託。

## 収支差額金処分案

次のとおり、全額積立金に繰入のことにしたい。  
(単位:円)

基本金	0
名簿積立金	1,000,000
一般事業積立金	991,514
計	1,991,514

# 獨協同窓会 平成21年度収支予算書(案)

平成21年 4月 1日から  
平成22年 3月 31日まで

## 収入の部

(単位：千円)

科目	21年度予算額 A)	20年度予算額 B)	(A)-(B)	摘要
1 入会金	6,300	6,300	0	30,000円×210名
2 会費	7,000	7,000	0	5,000円×1,400件
3 寄付金	10	10	0	
4 事業収入	310	310	0	
総会会費	300	300	0	
名簿売上代	10	10	0	
5 資産運用収入	250	220	30	利息等
6 一般事業積立金より繰入	2,500	1,000	1,500	
7 雑収入	10	10	0	
合計	16,380	14,850	1,530	

## 支出の部

科目	21年度予算額 A)	20年度予算額 B)	(A)-(B)	摘要
1 事業費	10,550	10,320	230	
(1) 総会費	1,900	1,900	0	総会、懇親会費
(2) 会報費(獨協通信)	4,950	4,920	30	72,73号制作費
(3) 事業通信費	2,000	2,000	0	会報発送費等
(4) 慶弔費	200	200	0	
(5) 渉外費	100	100	0	諸会費等
(6) クラス会補助	300	300	0	
(7) 卒業生記念品費	500	500	0	
(8) 中高事業補助	200	200	0	図書等
(9) 獨協祭参加費	200	200	0	
(10) 中高防災用品	200		200	
2 事務費	4,800	3,200	1,600	
(1) 事務運営費	1,700	900	800	事務通信費、振込手数料等、
(2) 管理費	1,500	1,000	500	事務局費等
(3) 会議費	500	500	0	
(4) 旅費交通費	800	500	300	
(5) 名簿管理費	200	200	0	
(6) 雑費	100	100	0	
3 予備費	1,000	1,000	0	
小計	16,350	14,520	1,830	
4 収支差額金	30	330	300	
合計	16,380	14,850	1,530	

ホームページ更新料10万円を含む

**同窓会発展のため  
同窓会費を納めましょう**

年会費5,000円

自動引き落とし制度をご利用ください。  
詳しくは事務局まで



## 秋の同窓会日程

常任幹事会 10月17日(土)

母校小会議室

幹事会 11月14日(土)

市ヶ谷アルカディア

## 戦後医学部入学受験の混乱期に共に 学び、合格出来た級友の死を悼んで

昭和28年卒 池谷 正之



在りし日の山崎君(右)と私宅にて 1956年(昭和31年)4月

### 追悼 山崎誠君

山崎誠君が亡くなった。去年(2008年)の夏、しばらくごぶさたなので彼が学院長をしている看護大学のネットを開いたところ、山崎誠聖マリアンナ医科大学名誉教授の訃報記事が目飛び込んだ。びっくりして獨協の幹事佐藤明德君に連絡すると、急だったんだ、俺もいまきいたばかりだ...と。まさに虫の知らせであった。

山崎君とは獨協中学2年からの付き合いで、高校進学するとき、少し勉強のできるものは、慶応高や都立高へ進学していった。彼は「できる」方のグループだったが、俺は獨協高へ進む、と言い、他校を決して受験しなかった。

高校3年に進んだある日、校友会の部活動の予算会議が開かれ、野球部の彼もキャプテンとして出席した。当時の風潮で、何かと文化部偏重だった校友会の予算は運動部に厳しく、体育系は休部も検討課題に挙がった。野球部も例外ではなかったが、山崎君は「伝統ある獨協野球部を休部させては先輩に申し訳が立たない」と発言し、野球部の予算は面目を保った。そしてその年の11月、天野貞祐先生が校長に就任、当時の獨協にとっては晴天の霹靂であった。天野校長は交友会活動の現場にも姿を見せ、ご自身も獨協中学の野球部員であったとお話になった。そのときの山崎君の誇らしげな顔は今でも忘れられない。山崎君とは、大

学(彼は慈恵医大、私は日本医大)こそ違ったが、獨協を卒業以来、医学部に進学するまでの3年間、必死に勉強し合った仲である。当時は、高校から直接医学部を受験することはできなかった。まず、理系の大学の医科進学コースに入学して2年経ってからはじめて医学部の入学試験を受ける、という制度だった。全国にあった大学の医科進学コースから医学部へ合格できる割合は1割に満たないから、医学部に進めなかったら、薬学、理学、工学部などにもぐりこめるかどうかだった。山崎君と私は薬学部以外にも、同志社大工学部(東京で受験ができた)、立教大理学部、教育大(現筑波大)理学部植物学科などまで選択肢に入れて猛勉強をした。

そうした中、山崎君は息抜きに、川口の私の家にもたびたびやって来た。一緒に飯を食い、あらかわの土手を散歩したり、たまには荒川で和船を借りて櫓を漕いだりした。夏休みには伊豆の石廊崎の安宿に逗留し、「浩然の気を養うと言うけれど、勉強よりもそっちの比率の方が高いんじゃないか。」など軽口をたたき合ったりもした。

お互いに1年間浪人し、山崎君は先に慈恵医大に合格が決まった。10日後、私の目指す日本医大の入学試験にもやってきて「頑張れよ」と声をかけ、1日目の午前午後の試験を付き合っけて受けてくれた。実におとこ気のある友だった。卒業後は同じ整形外科の道を進み、彼は股関節外科、と専門はわかれたが、研究会があるときは、手の外科の会にもやってきた。私が幹事役で研究会の司会をするときには、だまって出席して見守ってくれた。山崎君はそういう男であった。

私が日本医大整形外科の助教授を辞めて開業をすると、彼は、「こんど、獨協の会で会おう。」と手紙を寄越した。山崎君はすでに聖マリアンナ医科大学の整形外科教授として、股関節外科の領域で大いに活躍していた。私の親族も含めて医師会会員の家族も彼のお世話になり、ずいぶん感謝された。

その後、聖マ医大名誉教授となり、附属病院の看護学院長の職も全うし、これからは悠悠自適の日々であったと思う。私も仕事量を減らして、彼と会う機会を作ろうとした矢先の訃報であった。人生の無常を感じずにいられない。さようなら、山崎君。どうか安らかに眠りください。 合掌



## 私の近況.....卒業後 ン十年

我々の獨協時代は、波瀾万丈だった。昭和18年の戦争中の入学、動員や度重なる空襲を経て、中学3年で終戦。墨で消された教科書で勉強し、昭和23年に旧制中学を卒業、学制改革で高校3年に編入し、翌24年に卒業した（新制高校第1期生）。走馬灯のようだ。そして何とか大学を出て、世の荒波にもまれ、兎に角よく働いた。10年前に隠居して、いまは健康第一で、スロウライフを楽しんでいます。

宮田 和夫（昭24卒）

空襲が激しくなって、房総半島の中学校に転校しました。英語が全く判らず、苦労しました。昔、父親が目指したというので、一橋大学に挑戦したところ、何と、父親を喜ばすことができました。（自慢話で恐縮です）

矢田 清明（昭24卒）

八十歳老爺の楽しみ、日々の散歩、古本漁り、パソコンいじり、古街道、古峠歩き、青春18切符と車中の会話、それにしても田村教頭の稚心を去れ、安藤先生の熱情演奏が蘇ります。

小出 一成（昭24卒）

娘に初めて子供（生後5ヶ月）が出来、殆んど毎日「専属子守り」として娘の家に通っています。生活に張りがでてきた事は、確かですが、疲れます。

多賀（旧佐藤）秀世（昭24卒）

昭和21年入学当時、旧目白坂上から富士山とか国会議事堂が見えました。関西に移って50年余り京都、大阪、神戸と現在六甲山麓にウォーキング、水泳とか平均寿命まではと頑張っています。

江田 豊（昭24卒）

此の度国より後期高齢者の認定を受けました。敗戦後の紆余曲折の中、今日まで生き長らえてきたことに感謝の毎日です。

島本 護（昭24卒）

今はない独逸学協会中学校名の懐かしさ。漆山先生の授業脱線満州旅談。昭和21年入学以来63年の温かい友情。子に出来なかった耳打ち3歳孫のままごとお相手。健康を家内と喜んでいます。76歳（花の27会）に入らせて頂いています。

久米 実（昭24卒）

定年のない開業医生活といってもいつまでもやっている訳にもいかず何とか70歳位で定年に自分でけじめをつけないといけないのかなあーと考えています。あと2年は頑張るつもりです。

金子 宏（昭34卒）

今年1月で68歳になりました。故人となられた村松先生の「太宰治と一緒に入浴した時彼の一物が云々」との教室でのお話を鮮明に思い出しました。お固い上智大学でも同じ調子だったのでしょうか？追伸：機会があれば同級生の渡部清君に尋ねたい。

木本 武文（昭34卒）

獨協在学中は文京区に18年在住、その後豊島区に6年、中野区に20年調布市に7年、そしてつくばの在所に終の住処として5年経過、今は3人の孫に囲まれてAbendscheinの余生を送ってます。

児島 伸一郎（昭34卒）

往時の“紅顔の美少年”も卒後50年を経ると、残念ながら今や“厚顔の並老人”。後期高齢者にはまだ間があるにしても、時間の経過は万人に公平だから、これからは精々健康管理に努めるつもりだ。

小平 晋士（昭34卒）

私は田舎から急に都会の学校へ入学しましたのでカルチャーショックが大きかったです。同級生とは今でも仲良くつきあっています。現在飯能市長をとめています。

沢辺 瀨彦（昭34卒）

天野貞祐校長の訓示、獨協を大いによくするには、諸君自身がよくなってくれるということが、この学校がよくなることです。まず勤勉という習慣を身に付けなさい、怠けてよい人間にはなれない、人に信頼される人間になってもらいたい、正直、親切、心身ともに清潔というようにこころがけ思想は高く、けれども生活のあり方はごく普通でよい。

田中 新三（昭34卒）

大学病院勤務その後、地方病院勤務を経て内科開業医となり、29年が経過しました。息子二人（循環器医）娘（歯科医）となり家を出てゆき妻と二人暮らしとなりました。往診の車中で「大沢悠里（同期）のゆうゆうワイド」を楽しく聞いております。当分現役続行の予定です。

中島 泰彦（昭34卒）

我々のクラスは還暦を迎えた年より5年を節目に合同クラス会を行っています。次の会は70歳の時で楽しみにしています。私は巣鴨にて歯科医院を開業して約30年になります。親子3人歯科医師と一緒に仲良く頑張っています。

大橋 康良（昭34卒）

2月の4日に引越しを致しました。営業所は名古屋市中区と横浜市中区で慌ただしくやっております。

大平 昌民（昭33卒）

私の近況.....卒業後 ン十年

今日は！昭和34年卒のおっさん達、おじじ達、元気で人生楽しんでいるかい。苦しんだり、泣いたりして居ないだろうね。人生いろいろだ。ここまできたら自分らしく粹に男の道究めようや。七転八起、生きていりゃこそだぞ！「34年卒の目白台の健男児達に幸多かれ！」 中山 政美（昭34卒）

卒業して早や50星霜を重ねました。天野貞祐校長、奥貫先生、漆山先生の方々、懐かしい思い出ばかりです。平成18年以来、市環境保健委員に就いて、より良い地域環境作りに奮闘している日々です。

西出 秀行（昭34卒）

今年卒業して50年、半世紀が経ちました。クラス会幹事として、今年は一泊旅行を計画しています。来年は70歳古稀を迎えるにあたり、34年卒全体の同期会の計画等、元気でガンパッテいます。

原 鉄一（昭34卒）

卒業後、あっと云う間の50年でした。同窓生とはサッカー部OB会などで毎年数回会って楽しい時間を過ごしています。今も現役で仕事を続けていますが、そろそろ第二の人生生活に入りたいと思っていますところ。

平野 雍昌（昭34卒）

大家族制のよさを感じているこのごろです。幸いなことに息子・娘に合計4人の孫ができ近くに住んでいます。1週間に何回となく会うことが多いのですが、その度に孫の成長を体感する喜びを楽しんでいます。

矢沢 恒次（昭34卒）

石綿、ダイオキシン除去工事業をおこし、早23年、ご用命あればご一報下さい。

中島 寛和（昭44卒）

ドイツの総合電機メーカーにて35年半勤務し、昨年12月末退職、今年1月からドイツパンのお店を運営している会社で心機一転、働き始めました。人形町へお越しの際は、お立寄り下さい。

中山 裕（昭44卒）

私は足立区立梅島第二小学校、弟（双子の）は葛飾区立木根川小学校の校長を拝命しました。兄弟で東京都の教育の充実、子どもたちにすばらしい感動をあたえるような教員の育成にがんばっています。

本間 和久（昭44年卒）

獨協中学一年の時に父が亡くなり、続けられるかと思いましたが、兄と共に二人共卒業しました。去年の夏、久しぶりに旧友と会い、チビ栗先生の話

で盛り上がりました。6年一緒の友達は、年を取ってもやはり獨協生でした。

阿波野（旧姓堀江） 泰雄（昭44卒）

歯科医院を開業して、15年目になりました。獨協時代は、何事にも一生懸命の時代でした。木村先生をはじめとする先生方、本当にありがとうございました。獨協の3年間は今の僕をささえています。

唐木 俊英（昭54卒）

獨協高校へ入学の為、単身上京したのもつい最近の事のように。あれから30年とは...。今は、地元で内科・外科を開業してます。愛犬シロ（雑種）との散歩を楽しみに、のんびり生きてます。

塩谷 眞悦（昭54卒）

息子は、現在獨協の中学2年生。私が通学していた時分とは違いモダンな校舎となりましたが、彼等が今もお確実に獨協の歴史を刻んでくれているようです。

高安 晃（昭54卒）

本年は政治決戦の年。7月に改選を控え、準備に忙しくしています。都議会には、獨協出身者（目白）は3人。党派を超えて、母校のためには協力しています。

田中 良（昭54卒）

東京都国分寺市で開業医をしています。地元中高へ通う息子達を見て、時々獨協時代を懐かしく思い出しています。

知念 信昭（昭54卒）

ドイツ語クラスはなくなったようですが、我々は今でも仲良くすごしてます。4半世紀の間、親友と共に、浅草で「獨協ふぐの会」を家族ぐるみで続けております。礼節、感謝、思いやりが今の日本には必要です。

長瀬 慈村（昭54卒）

昭和54年に卒業（旧獨組）してから早20年、信州（中野）でクリニック開業から5年となります。今も獨協は我が心の故郷（ふるさと）であり、獨協時代の友は私の財産です。

長谷川 悟（昭54卒）

歯科医師になり22年が過ぎました。中学の頃、親友のH君の独特な容姿・服装のおかげで街で怖そうなお兄さんにはよくお世話になりました。要領が良く、逃げ足だけは誰にも負けない、そんな「傷だらけの天使」世代達でした。

福嶋 康二（昭54卒）

卒業して30年目、父の後を継いで病院とクリニックを経営しております。娘が9歳、息子はまだ5歳です。獨協へ是非入れたいと思っています。まだまだ頑張らなくては！同窓会でも昨年より常任幹事に



## 私の近況.....卒業後 ン十年

なりました、よろしくお願い致します。

野村 芳樹(昭54卒)

昨年、稲田から、「お前行方不明になってるぞ」と言われ、久しぶりに母校に連絡しました。みなさん元気ですか？若林、確か幹事だったのでは？同窓会企画して下さい。

梶田 利文(平元卒)

卒業から10年経ちましたが、現在も獨協に御世話になっています。獨協医科大学病院整形外科に入局し奮闘中です。今年、人生の伴侶を得ました。

助川 卓也(平11卒)

不況の影響で大変ですが、なんとか踏ん張っています。

持丸 正也(平11卒)

## 第16代校長 蝦名賢造先生ご逝去

### 粘り強く ファイト!!



平成21年1月3日、満90歳の天寿を全うして昇天された蝦名賢造先生のご遺徳を偲んでご冥福をお祈り申し上げます。

先生は昭和57年4月、獨協大学経済学部教授兼任で獨協中学・高等学校の第16代校長(在任期間:

昭57.4~昭61.3)として着任されました。若いときに読まれた「ゲーテとの対話」に感銘を受け、その中の「瞬間瞬間を最大限に生きよ」というゲーテの言葉を座右の銘としておられたそうです。熱のこもったお話しは生徒たちやご父母の心を捉え、信頼され尊敬される校長として校務の運営に当たられ施設面や教育面の改善に取り組まれました。毎週行われる朝礼で蝦名校長は優しい言葉で天野先生のお考えを易しく噛み砕くように話され、時には自分のエネルギーを最大限に燃焼させ自分の良い芽を伸ばしてほしいと、またある時には、先

生の生い立ちに触れながら苦勞の時代を熱く語りかけることもありました。話を聞かない生徒には、壇上から叱りつけることもあり、それは実に熱のこもった厳しい姿でした。生徒からのファイトコールに応えるかのように、右手の拳を高く突き上げながら「粘り強く、ファイト!!」と先生は生徒たちと一緒に声張り上げていました。体育祭・マラソン大会・獨協祭などのフィナーレには必ずこのファイトコールが起こりました。蝦名校長=ファイト!!、生徒たちにとっては思い出と印象深い言葉となっています。

先生の在任中、私は教務主任として全幅の信頼をいただき仕事をさせていただきました。長い教員生活の中で最も充実した時でもありました。林間学校の副教材として「浅間の自然」(リンデンバウム叢書別巻:金・清棲・鈴木共著)という小冊子を作る企画を快く受け入れ、実現に向けて努力をしていたことも忘れることが出来ません。健康を害されて入院していた病院に、この小冊子が上梓された折にお持ちすると自分のことのように喜ばれ、励ましをいただいたことが思い出されます。校長退任後も昭58卒のPTA役員の方々と主管との親睦会・ロマンス会の会長を引き受けられ、二十数年もの長きに渡ってお付き合いをさせていただき、楽しい時間を共有できたことも先生のお人柄と感謝しております。長年にわたるご指導有難うございました。

(昭35卒・元数学科教諭 金 有一)

## 神田先生の思い出(1)

神田直人先生のご逝去に辰巳会一同心からの哀悼の意を表します。

神田先生との出会いは私たちが歴史ある獨協高等

学校に入学した昭和三十一年四月。いまから五十三年前のことでした。

希望に胸を膨らませて入学した我々はドイツ語を主たる外国語として学ぶ二組に編成され、クラス担任として神田先生との出会いとなりました。

神田先生は教師としては初めてのクラス担任と

聞いております。そして、幸か不幸か一年生から卒業まで三年間一度も変わることなく我々のクラス担任として大変お世話になりました。

当時の私たちの様子はと云えば、一年生の時には借りてきた猫、二年生の時にはやっと慣れてきて自由に振舞い、三年生の時には手のつけられないやんちゃ坊主の集団となっております。

何時頃からか、誰が名づけたのか先生に付いたあだ名が「カメレオン」。授業中に先生の言うことを聞かなくなった時に、先生の態度が急変する様子がカメレオンに似ていることから付けられたようです。その後短くなって「カメレ」。これは後輩たちにも受け継がれていきました。

三年間編成替えが無かったクラスのためか、神田先生は出席簿を諳んじており、その記憶力は我々が六十歳になっても変ることはありませんでした。

当時の我々高校生としての学校生活は自由で、あまり規則、規則と云われることもなく、大学受験にしても自主性を重んじていただき、青春を大いに謳歌していた記憶が有ります。

担任としての神田先生とは高校の三年間で終わりましたが、その後のお付き合いは亡くなられる前まで続きました。十六、七年前には、後に先生の担当された後輩諸君と合同で先生ご夫妻をお招きして還暦のお祝い、三十四年卒業生合同で、我々の六十歳還暦祝い、六十五歳祝いに、神田先生はじめ在学時の諸先生方をお招きして椿山荘での祝宴、又国語の先生として得意の漢文の知識を利用して、ほぼ全地域にわたる中国旅行の思い出話をして頂いたりと数え切れない思い出があります。

昭和三十四年卒三年二組辰巳会の名称で毎年クラス会が継続されていることは、三年間同級生として過ごした青春時代が、いまだに各人の心の中に刻み込まれており、集まれば直ぐに当時の仲間に戻る事が出来るのも、神田先生の存在がいかに大きかったかを痛切に感じます。

神田先生にご迷惑をおかけしました悪童たちも、それぞれの人生を歩み続けています。五十数名のクラスメイトも今では二割程度が天国に旅立ってしまいました。

平成二十年度のクラス会開催を計画し、先生をお招きすべく連絡した折にも「元気で通院治療しています」とお話をしていたその神田先生までも・・・。

平成二十一年、卒業後五十年を迎える我々も、人生の最終章に向かって歩んでいます。悠々自適のもの、生涯現役と頑張っているもの皆が、今までの人生を振り返った時、高校生活という人間形成に一番大事な時期に、神田先生に出会えて本当に良かったと感謝の気持ちで一杯です。

今年は五十周年を記念し、先生を交えて一泊二日の旅行を計画しておりましたが、この願いも叶わず残念でなりません。

神田直人先生のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。  
合掌

昭和34年卒業3年2組 クラス代表 山田 真弘  
原 鏡一

## 神田先生の思い出(2)

私達は、昭和35年独協中学に入学しました。戦後ベビーブームの中で一学年4クラス、ドイツ語クラス1、5クラスでした。全員独逸語科の一組のクラス担任が、国語専任でもある神田先生でした。教師になって2度目だったそうです。授業のはじめに出欠を取るとき、出席簿を見ずに、氏名を暗記して生徒全員の名前を読み上げるのが常でした。「私には、お前達の事は良くわかっているんだぞ」というメッセージの様にも聞こえましたが、ただ単に、暗記力の誇示だけだったのでしょうか。(よく歴代天皇の名前を在位順に暗誦されていましたっけ)もちろん記憶力は抜群でした。それから、一番思い出されるのが、体罰、と言うか、お仕置きのことです。中学に入ったばかりの子供年代の私達は、授業中よく騒いだり、私語も多かったのですが、その度に、先生は、「こら、静かにしろ！ は後ろに立て！」と言って教室の後ろに立たせ、「じょっ、じょうたい(上体)を45度曲げろ！」とドモリながら言って、突き出たお尻を出席簿で叩くのです。最初の頃は、先生は軽く叩いても、叩かれる我々は怖かったのですが、月日が経つにつれ、先生も叩く感じが掴めたのが、段々、強くはなってきましたが、所詮ダンボールですから、我々は怖さを感じなくなっていきました。先生も、出席簿の威力に限界を感じたのでしょうか、2年生のある日、出席簿からピンクに変わりました。

初めての時、先生の右上腕が先生のからだにぴったりくっついていて、体を回転させて、指先だけが頬にふれました。先生もおっかなびっくりなのが、よくわかりました。それでも月日が流れ、我々が、授業を通して知識が向上したように、先生も、我々を通してお仕置きの技術の向上が見られたようです。他の教師の中には棒やバットで殴っ

### 帽章の寄贈を

旧富士屋制帽店の方から新年に以下のようなお手紙を頂戴しました。文京区内の学校の校章、帽章、徽章などを集めておられるとのこと。ご協力いただける同窓生の方は、同窓会事務局へご連絡ください。

獨協高等学校様

新春を寿ぎ謹んでお慶び申し上げます

急にお手紙を差し上げます失礼をお許しくさいます。私は、本郷通りに面して先々代より学生帽店を営んでおりましたが、安田講堂などでの学生運動を機に学生帽、学生服も変革されましたので、富士屋制帽店も終わりと致しました。が、先代が残してくれた旧制高等学校・大学予科の帽章を揃えて持っているのは、今は全国で私どものところだけと自負しております。

東大前という地の利から、次の世代の為に旧制高等学校の資料館のような場所を残したいと思い

たり、自分の感情のまま思っきり叩く教師もいましたが、それに比べ、神田先生には怪我をしないように、との配慮が感じられました。そんなエピソードも含め、子供から青年への多感な時期に、先生に御指導頂いた事は、何ものにも代え難い思い出です。有難うございました。そして、御冥福をお祈りいたします。 昭和41年卒 佐藤和美

大凡のものは揃い出来上がりました。

昔のウィンドウに飾ってありました各校の帽章を再度飾るために、準備をしておりましたその時、「わが区は文教の区であり、わが区は都の中心地、わが区は都の文京区」の区歌を思い出し、文京区内の小中高大の各学校の校章もしくは、バッチを飾りたいと思ひ是非ともお譲り頂き、ウィンドウの中心に並べて文京区の誇りにしたいと思ひ、お願いのお便りをさせて頂きました。

< 中略 >

どうか私共の意をお解かり頂き、ご協力をお願い致します。帽章、バッチ代は有る無しのお知らせを下さった後にお支払いさせて頂きます。

貴校の益々の御発展をお祈り申し上げます。

敬 具

平成21年1月1日

旧富士屋制帽店店主

### 獨協中学・高等学校PTAより「獨協祭・バザー用品ご寄付のお願い」

PTA会長 木原 正義(昭和47年卒)

昨年は多くの同窓生より獨協祭・バザーにご協力いただきまして誠に有り難うございました。おかげさまで例年以上の収益金があり、子供達に還元することができました。

さて、今年度も引き続きましてバザー用品のご寄付ならびにご提供もお願いしたいと考えております。皆様にはバザーの主旨をご理解して頂き、お手元に眠っているお品物を下記要領にて、ご提供下さいますようよろしくお願い申し上げます。

記

#### 1. バザー用品受付期間とご提供の方法

- ・9月18日(金)～10月2日(金)
- ・宅急便にて下記宛にお送りください。(元払いでお願い致します。)

〒112-0014 文京区関口3-8-1 獨協中学・高

等学校「PTA厚生委員会」 03-3943-3651

・直接学校へご持参いただく場合は、主事室前廊下で受付しております。

\*上記の期間ご都合が悪く場合は、いつでも結構でございます。(但しロックアウト期間中の8月を除く)問い合わせ先 獨協事務・淀縄(よどなわ)まで

#### 2. ご提供品について

- ・新品もしくは未使用のもの。
- ・会社名などが入っているもの、試供品・景品・粗品などのご遠慮ください。
- ・食品は賞味期限に余裕のあるもの、未開封のものをお願い致します。また、手作りのお菓子は焼き菓子に限らせていただきます。
- ・手作り品は材料費を明記してください。

## クラス会だより

### 昭和20年（4年卒業） 1組クラス会

11月22日（土）に新橋にある九州工大鳳龍クラブで平成20年クラス会を行った。お互い傘寿を迎える年齢となると、残念ながら次第に参加者が減少してくるが、今回は井上富夫、加藤壽吉、黒川泰三、坂本敬三、桂 義之の5名が参加し、健康談義や卒業した終戦の頃の思い出話で盛会であった。（桂 義之・記）



### 昭和25年卒 獨協大豆会

平成20年11月14日、卒業後57年振りに母校を訪問しました。我等が通学した戦時中の校舎は、天井板は無く、窓ガラスは破れ、寒風が吹き荒び、廊下の床は穴が空き、ストーブも無い、冷寒の木造校舎でした。

現在の学校は、想像を越えて素晴らしく、この恵まれた環境の中で、生徒が一心に勉学に励む姿を見て、学園全体の労力が向上する事大いに確信しました。学校見学の後、椿山荘にて喜寿の祝を兼ねて会合しました。（市村 圭司郎・記）



### 昭和26年卒 ドイツ語組

平成21年3月16日、新日鉱HD六本木クラブにて開催。出席者は前回は3名上回り19名でした。全

員が76歳を超え、クラス会も3年まえから昼の時間にしました。飲物は自由ながら、カラオケなしで歓談できるよう座敷に代えて会議室を使用しました。

われわれの育った獨協は、まさに戦後の混乱期でいろいろの事情から転校生も多く、途中新制高校に代わって卒業までには多くの友人が去って行きました。現在消息不明の者を、みんなで調べながら連絡を取ろうとしています。この日の話題は自ずと健康のことが中心となりましたが、これからも年1回といわず2回やろうじゃないかとの声もありました。（土屋 隆・記）



### 昭和28年卒 第21回双葉会

平成21年3月29日（土）JR駒込駅近くの割烹・思い川で開催。この会場はさかのぼること5年、平成16年3月、六義園に於いて桜を見る会として25名の出席を得て盛会だった事、交通事情も駅より1分程。以外と閑静にして安価な料理店であり再度思い川に決定した。

今年是不況の中、天候も不順続きで雨が多く前日迄春の嵐を想わせる天候でしたが、当日は朝晩の冷え込みはありましたが無事、傘の必要はなく出席18名のクラス会となりました。

我々の年齢も75歳後期高齢者の仲間入り車の免許も再試験や落葉マークの必需車となり、悠々自適とは程遠く酒の量がつい進んでいる毎日です。訃報の知らせも多くなる中、親友の山崎誠（前・聖マリアンナ整形外科教授）渡辺昌一（前・アドエンジニアリング株、社長）ゴルフは生涯の趣味でシングルを死亡する迄守って支配人現役中の死亡でした。

さて、会はお二人に献杯の後、前回より参加されるようになった赤堀君が奈良から馳せ参じ、高価

## クラス会だより

な手みやげを毎回頂戴し感謝しております。双葉会開催も自然に2年毎の開催となりましたので2年後の再会を約束し、校歌を暗唱の上、歌い上げ閉会となりました。(佐藤・記)



### 昭和31年卒 ドイツ語クラス

平成20年4月5日に獨協倶楽部に於きまして、昭和31年度卒業のドイツ語クラスのクラス会を行いその時の写真を同封いたします。

獨協高校を卒業して早や50余年この様にクラス会が開催できるのも皆様方のお陰と感謝しております。今後とも宜しく願いたします。

(日比谷 平三郎・記)



### 昭和46年卒 獨協高校同期会

平成20年9月20日(土)京王プラザホテル45階リトルベアにて、昭和46年卒業の同期が参集しました。会場は、同期の市川君が支配人をしているホテルの最上階を利用させていただきました。当時の主管の先生方、石井征次先生、金有一先生、太田朝博先生、柏葉洋先生をお招きし、同期56名と他の学年3名を加え、60余名が集まりました。参加者が少ないクラスもありましたが、30有余年ぶりに再会する懐かしい顔もあり、開会前から、あちこちで談笑が始まっていました。幹事小林修一君から開会の挨拶があり、石井先生の乾杯で

会は始まりました。閉会後も立ち去りがたく二次会へと繰り出した面々もあったようですが、またの再会が楽しみになった同期会でした。幹事の坂下真一郎君、白田周作君、その他ご協力いただいた皆様に感謝の意を表したいと思います。

(竹内 文生・記)



### 昭和48年卒 獨協48会

平成20年10月18日(土)午後7時より、溜池山王の「春秋」において、糸井透先生(1組主管)柏葉洋先生をお招きして「獨協48会」を開催しました。平成5年に同会が発足して以来、毎年、15年連続で行われているにも拘わらず今回も40名にも及ぶ参加がありました。

糸井先生の乾杯で静かに会が始まりましたが、時間が進む程に獨協生だった頃に戻り、在学中の話題に花が咲き、あっという間の2時間でした。

会の最後に、次期クラス幹事の選出を行い、今年10月の再会を誓って、2次会の会場である赤坂見附の街に繰り出しました。

次期クラス会幹事 田村 治久(1組)、植松 弘太郎(2組)、山口 光一(4組)、大久保 仙太郎(3組:代表幹事)、河村 安彦(5組)、小泉 信隆(6組) (山口 光一・記)



### 昭和53年卒 富岡先生クラス

昭和53年卒同窓会が、3月28日(土)日暮里ホテルラングウッドで開催されました。当日は恩

## クラス会だより

師、富岡先生を囲み 12 名が集合し、終始なごやかな会食となり、近況を語り合いました。卒後 31 年、50 歳目前となると各自の趣味もバラバラで、ひたすらメタボ道歩む者、健康の為ジョギングや水泳、サッカーやゴルフに励む者など実年齢と生活年齢、精神年齢にもかなり開きがでてきた事を実感しました。(西原 由恭・記)



### 昭和53年卒 合同クラス会

卒後 30 年の昨年、初めてクラスを横断した同期での様々な活動を行なった。2008 年 2 月 10 日、目白駅隣接のホテルメッツ目白のレストラン『フィオレンティーナ』にて開催し 62 名が集合し、クラス主管の川合先生、合田先生、高瀬先生、富岡先生と中学時代にお世話になった児島先生も駆けつけて頂き、思い出話、近況報告と大いに盛り上がった。雪晴れて風が冷たかったものの、テラスでの全体写真、クラス別写真と修学旅行さながらの記念写真撮影を楽しんだ。さらに、9 月 28 日には獨協祭訪問と母校見学会を実施し、明るい校舎や在校生の学友会活動を直接目にする事が出来た。また、同窓会が設けた「獨協の歴史コーナー」では当時お世話になった成田先生、永澤先生との再会も果たせ一同胸が熱くなる思いであった。(昭和53年卒 谷口 有三)



### 昭和54年卒 旧3年1組ドイツ語クラス同窓会

1 月 31 日(土)に新宿の『串焼き・魚 新宿宮川』にて、新宮・飯島両先生方をお招きして、旧 3 年 1 組ドイツ語クラス同窓会を開催しました。

当日は、明日が私立中学校受験日による欠席者(親として、または、教師として)、この年齢(48 歳)になっての転職による欠席と、同窓会の常連(?)の欠席が多かったことは、残念として、先生方を含め 13 名の方に集まっただけだったことは、幹事冥利(?)に尽きるの一言でした。さらに、この年(年齢)になって、里ごころ(古き、若き良き思い出)か、卒業以来初めて参加という恩知らず(笑)もあり、会場のあちらこちらで、会話が大変弾んでいました。

最後に「来年も必ず」とのことから、初めて幹事3名体制となり、その人選もスムーズに決まり、一次会の(両先生を除き、全員二次会参加でしたが)お開きとなりました。

今回の同窓会の開催に際し、ご尽力いただきましたすべての方に、この場をお借りして、お礼を申し上げたいと思います。『ありがとうございます。また、来年も元気に酒を酌み交わしましょう。』(幹事:友永・皆藤)



### 昭和58年(1983年) 卒業生同窓会報告

高校を卒業して 25 年、中学入学から約 30 年という月日を経て、同期の仲間の顔が懐かしくなってきたので、同期の有志 8 名を幹事として平成 20 年 11 月 29 日土曜日に同期会を開催しました。

16 時より学校見学。当時の校舎とは全く様変わりした近代的な獨協を見てまわり、感心している皆でした。

クラス会だより

17時から椿山荘にて懇親会。金有一先生を含め約 50 名の同期が集合し、すっかり変貌した友や、変わらぬ友と約2時間の歓談を満喫しました。最後には全員で校歌を三番まで歌いきり、今年9月に他界した内田光哉君をはじめ、数名の亡き友を偲び、黙祷を捧げて解散となりました。その後、音羽のバーで二次会となり、一次会に参加できなかった同期も参加し、夜中まで大いに盛り上がりました。

今回の同期会で皆が口を揃えて言った言葉は『獨協に通った時間が無ければ、今の自分はいない。』この言葉を昭和 58 年卒業生の気持ちとし、獨協の繁栄に助力していきたいと思えます。次は5年後の50歳の頃に実施したいと思います。以下のサイトに1983年卒業生のホームページを立ち上げましたので、同期の交流をしてください。



<http://www.geocities.jp/dokkyo83/dokkyo83.html>  
ID:dokkyo83 PW: 250811

軟式庭球部同窓会

平成 21年 3月14日(土) 午後 6 時より湯島のガーデンパレスにて軟式庭球部の同窓会を開催しました。当日は土曜日の夕刻にもかかわらず、昭和 46 年卒から平成 3 年卒まで 35 人が集まりました。開会に当たり、顧問を長いこと務めていただきました柏葉先生からご挨拶を頂戴し、最年長の私竹内の乾杯で会は開催されました。参加者が近況とともに学生時代のエピソードが披露されました。区大会、都大会で優秀な成績を残した後輩の話など聞くにつけ、私などは往時の練習の一齣を思い浮かべていました。(竹内 文生 記)



平成21年度大学別合格者数(推薦者を含む延べ人数)

進路指導部・平成21年 4月 8 日現在

< 国公立大学 >		國學院大学	5	帝京大学	6	福山大学	2
旭川医科大学	1	国際武道大学	1	帝京平成大学	2	文教大学	1
東京農工大学	1	国土館大学	2	東海大学	10	法政大学	18
東京外国語大学	1	駒澤大学	7	東京経済大学	1	武蔵野音楽大学	1
筑波大学	2	埼玉医科大学	2	東京工科大学	3	武蔵野大学	2
千葉大学	1	芝浦工業大学		東京工芸大学	1	武蔵野美術大学	1
埼玉大学	2	13		東京歯科大学	1	明海大学	3
鹿児島大学	1	社会事業大学	1	東京電機大学	8	明治大学	
小計	9	上智大学	7	東京都市大学	5	14	
< 私立大学 >		湘南工科大学	1	東京農業大学	1	明治学院大学	4
愛知医科大学	1	昭和大学	3	東京薬科大学	1	明星大学	1
青山学院大学		昭和薬科大学	3	東京理科大学	22	横浜薬科大学	1
14		成蹊大学	18			立教大学	13
岩手医科大学	2	成城大学	3	東邦大学	5	立正大学	2
桜美林大学	2	専修大学	1	東北薬科大学	1	早稲田大学	10
学習院大学	8	洗足学園音楽大学	1	東洋大学	15	小計	356
神奈川工科大学	2	崇城大学	1	獨協医科大学	2	< 大学校 >	
神奈川歯科大学	2	大正大学	1	獨協大学	15	水産大学校大学	1
神奈川大学	3	大東文化大学	6	日本医科大学	1	小計	1
北里大学	8	拓殖大学	2	日本医療科学大学	1	< 専門学校 >	
杏林大学	1	玉川大学	1	日本歯科大学	4	PANスクールオブミュージック	1
慶応義塾大学	5	千葉工業大学	5	日本獣医生命科学大学	1	服部栄養	1
工学院大学	3	中央大学	10	日本大学	30		
		鶴見大学	2				



物故者名簿（『獨協通信』70号以降）

卒業年	氏名	物故年月日	昭17	昭17	昭17	昭25	昭25	昭25
昭02	高橋 真照	平18.5.7	昭17	宮田 仁	平20.4.17	昭25	浅沼 俊夫	平20.1.13
昭02	関谷 達弘	平19.8.27	昭17	山口政一	平19.12.16	昭28	山崎 誠	平20.8.26
昭03	松浦 巖	詳細不明	昭18	大場 幹雄	平20.3.15	昭30	佐藤 明次	平20.10.30
昭04	滝沢 進	平20.10.31	昭18	布施 康正	平20.4.3	昭31	矢沢 正義	平20.4.5
昭08	河田 静雄	平6.12.12	昭18	馬場 保寿	平20.10.9	昭32	岩瀬 肇	平19.4月
昭08	水野 亨	平20.1.14	昭19	大坂 智	平20.6.20	昭32	染谷 武	平20.2.4
昭09	松本 博士	平20.1.2	昭19	太田 敏郎	平20.5.7	昭37	横山 理吉	平20.8
昭10	神蔵 重孝	詳細不明	昭19	三田 勤	平18.7.17	昭38	松田 瑞彦	平19.9月
昭10	飯島 安太郎	平19.11.22	昭19	燕昇司 昭	平17.7.22	昭38	山崎 東	平20.5.1
昭10	半田 完一郎	平17.8.24	昭19	松本 章	平14.11.4	昭40	大川 文夫	平20.9.7
昭10	小島 光彌	平21.1.1	昭20-5	岩井 一郎	平7.11.3	昭44	笠原 洋	平20.12
昭16	寺田 一彌	平19.10.3	昭20-5	服部 金也	平20.12.14	昭45	金子 敏彦	平20.5
昭16	関口 毅四郎	平20.1.26	昭23	阿部 完市	平21.2.19	昭48	岩坪 正剛	平19.2.25
昭16	宮内 吉之助	平20.11.23	昭23	香田 忠男	平19.12.24	昭48	西村 信博	平19詳細不明
昭16	三田尾 颯	平20.10.12	昭24	久保田 勝也	平20.11.28	昭49	池内 秀史	平20.12.9
				白井 陽雄	平1.4.24	昭51	白崎 敬二	平18.6.23

● ● ● ● 学 園 だ よ り ● ● ● ●

187人を送り出す。獨協高等学校卒業式

第 61 回獨協高等学校卒業証書授与式が3月10日、寺野彰学園理事長、ドイツ連邦共和国大使館バルバラ・ナガノ文化担当官らの臨席のもと100周年記念体育館で行われた。

永井校長はソクラテスの言葉を引用して「海に向かって旅立て」と卒業生を激励された。同窓会からは丸山雅史君ら5名に同窓会特別賞（賞状と講談社の類語大辞典）卒業生全員にDマークのついた携帯ストラップが卒業記念品として贈られた。

210人の新入生、獨協中学校

平成 21 年度の獨協中学校の入学式が4月6日、何年ぶりかの満開の桜の下で行われた。永井校長は式に際し「当たりまえのことが当たりまえに出来るようになって欲しい」と呼びかけた。新入生を代表して坪井祥君の力強い誓いの言葉があった。

獨協中学・高等学校人事

退職 清棲 保之（理科）

北原 武道（理科）

清村 由紀子（理科）

新任 藤崎 央嗣（国語）

同窓生からの寄付

次の個人・団体から寄付の申し出があった。

横山 理吉（昭和37年卒業・元ドイツ語科教諭）

菅谷 敦人（昭和 58 年卒）

小諸同窓会 代表 岩内 伸幸（昭和 58 年卒）  
学校説明会のご案内

日頃は獨協中学高等学校の教育に対して多大なご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。さて、2009年度入試に向けて、今年も下記のように学校説明会を開催します。皆様のご息やお知り合いの方に、ぜひ獨協中高の様子を知っていただけたらと存じます。説明会には予約が必要なものと予約が不要のものがあります。予約制の会は校舎見学の際に案内者をご説明させて頂くようになっています（予約不要の会は自由見学となります）。ご都合がつくようでしたら、ぜひ予約制の会をお勧めいたします。なお、予約は8月1日からホームページで行います。

2009年度 学校説明会一覧実施日

実施日	説明会名	予約	会場	開催時間
9月 12日 土	学校説明会	要	小講堂	14:00～16:00
9月 19日 土	学校説明会	要	小講堂	14:00～16:00
10月 11日 日	学校説明会	不要	体育館	10:00～12:00
10月 31日 土	学校説明会	要	小講堂	14:00～16:00
11月 21日 土	学校説明会	要	小講堂	14:00～16:00
12月 7日 月	学校説明会	要	小講堂	14:00～16:00
12月 13日 日	学校説明会	不要	体育館	10:00～12:00
1月 10日 日	直前学校説明会	不要	体育館	10:00～12:00
10月 3日 土	獨協祭 入試相談室	不要	教室	10:00～15:00
10月 3日 日	獨協祭 入試相談室	不要	教室	10:00～15:00

職業別記入番号表	1. 水産・農林・鉱業	11. 商社・卸売	21. 設計士・エンジニアリング	30. 医師：勤務医	産婦人科
	2. 紙・パルプ・繊維	12. 百貨店・スーパー・小売	22. 弁護士・会計士・税理士・その他資格士	31. 歯科医師：開業医	眼科
	3. 化学・医薬	13. 銀行・その他金融・保険	23. 出版・印刷	32. 歯科医師：勤務医	皮膚科
	4. 石油・ゴム・硝子・窯業	14. 証券・商品先物	24. 医薬・化粧品販売	33. 薬剤師	耳鼻咽喉科
	5. 鉄鋼・金属	15. 建設・不動産	25. サービス・外食・料理旅館	医師の診療科一覧	精神神経科
	6. 電気機器・機械	16. 陸海空運・倉庫	26. 芸術・文化	内科	泌尿器科
	7. 造船・自動車	17. マスコミ・通信・広告	27. 宗教・各種団体	外科	放射線科
	8. 事務機その他機器	18. 情報・コンピュータ関連	28. 学生・その他	整形外科	麻酔科
	9. その他製造業	19. 議員・公務員	29. 医師：開業医	小児科	その他
	10. 電気・ガス・水道	20. 教育			